

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

キリンビバレッジ(株)商品開発チームと横浜国立大学

経営学部 1 年生が商品開発のディスカッションをしました

- 横浜国立大学経営学部では、1 年生の初年次教育の一環として、キリンビバレッジ株式会社のご協力により、「横浜・湘南発の清涼飲料新商品の開発」プロジェクトを展開してきました。本講義の最終回（1月30日）では、代表チームによる商品開発に関するプレゼンテーションが行われました。
- 大賞の「cafe. FIRE」チームと横浜支社長賞の「『癒し』×『みなとみらい』～働く女性への FIRE」チームは、2月22日にキリンビバレッジ株式会社マーケティング本部商品開発研究所において同所開発チームの方々と企画案についてのディスカッションを行うとともに FIRE の試飲も行われました。

■ 実施報告

【日時】2019年2月22日（金）14:00～16:00

【場所】キリンビバレッジ株式会社マーケティング本部商品開発研究所（横浜市鶴見区生麦1-17-1 テクノビレッジセンター3階）

【詳細】

経営学部の1年生の学生全員が履修することを求められる演習科目「経営学リテラシー」において、今年度は、キリンビバレッジ株式会社様のご協力の下、地域性を活かした同社製品の開発企画を提案すべく授業を展開してきました。1月30日には、同社執行役員企画部長の山崎徹氏および同社横浜支社長の佐藤栄二氏隣席の下、代表チームの発表会が行われ、大賞と支社長賞の2点が選ばれました。

大賞を受賞した「『癒し』×『みなとみらい』～働く女性への FIRE」（二神枝保教授クラス）は、横浜の中心地であるみなとみらい地区で親しまれるコーヒーとしてミルクコーヒー「FIRE WHITE～癒しのミルク～」を提案しました。支社長賞に選ばれた「cafe. FIRE」（高須悠介准教授クラス）は、みなとみらいで働く人をターゲットとして独自の自動販売機をチャンネルとした販売戦略を提案しました。

今回受賞した2つのチームメンバーは、2月22日（金）にキリンビバレッジ株式会社のお計らいにより、マーケティング本部商品開発研究所を訪問する機会を得ました。同日は同所商品開発チームおよび自動販売機チームの方々とディスカッションを行いました。同社開発チームの方々からは、企画案に対する鋭いコメントが提供される一方、両企画案に対する多角的な視点が高く評価されました。このような貴重な機会を提供いただきましたキリンビバレッジ様に感謝を申し上げます。

■ 当日の風景など



本件に関するお問い合わせ先：

横浜国立大学経営学部 2018年度経営学リテラシー運営委員会 委員長 大森 明
E-mail: omori-akira-kc@ynu.ac.jp